

てきおう

No. 09

DECEMBER
2024

写真提供：一般社団法人広島県観光連盟



第9号 地球温暖化と日本の降雪

写真：

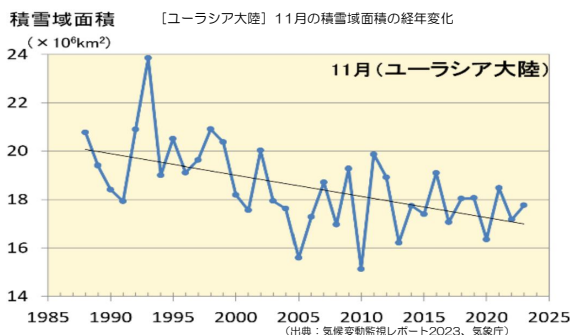
広島市では12月8日に初雪が観測され、ウィンタースポーツのシーズンとなりました。実は、広島県は豪雪地帯に指定されており、日本最南端の豪雪地帯、つまり「日本で一番南の雪国」となるそうです。ゲレンデで冬を満喫しましょう♪

地球温暖化と日本の降雪

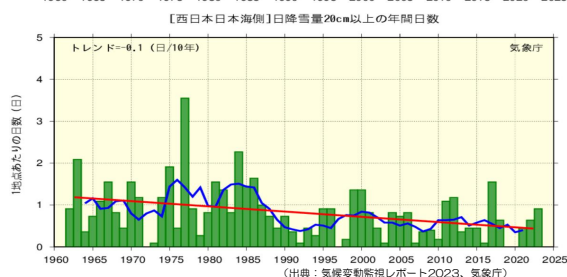
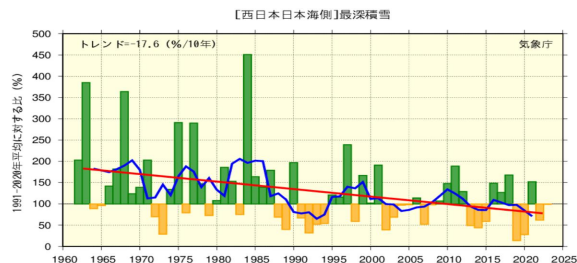
北半球の積雪域の減少

今回は、気候変動による積雪量への影響をご紹介します。

下のグラフは気象庁が観測したユーラシア大陸の積雪域面積の経年変化を示したものです。1988年から2023年までの36年間で、明瞭な減少傾向が見られることがわかります。

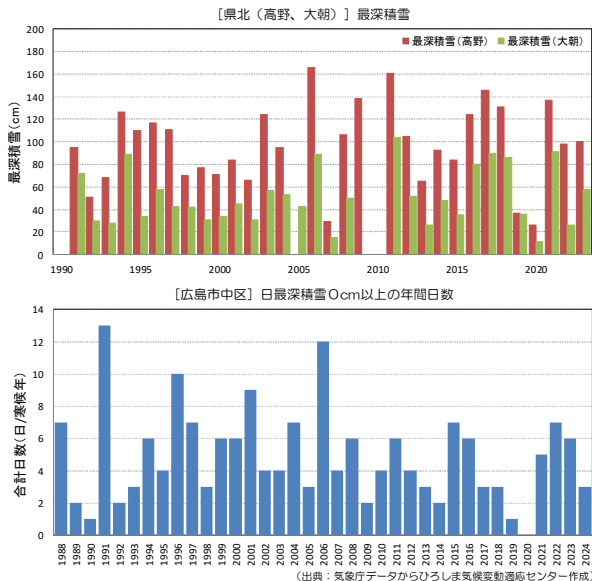


日本の積雪量の減少



日本でも、1962年以降の日本海側の積雪量データによると、年最深積雪（寒候年単位で最も多く積もった際の雪の深さ）は、北、東、西日本のどの地域においても、減少傾向が見られています。降雪量（一定期間に降った雪の量）で見ても、20cm以上降った日の年間日数は、東、西日本で、減少傾向となっています。

広島県の積雪の状況



広島県の積雪の状況について、積雪データを用い、豪雪地帯である県北の高野・大朝の最深積雪や広島市内で積雪した日数（日最深積雪0cm以上）の長期的変化を確認しました。いずれの地点も年次変動が大きく、北半球や日本海側のような明瞭な変化は見られませんでした。広島県の長期変化傾向やその影響を確実に捉えるためには、今後もデータの蓄積が必要となります。

温暖化でも大雪？

日本海側の各地域で、年最深積雪や大雪の日数の減少傾向が見られます。その一方で、地球温暖化が進行すると、海面水温が上昇します。より多くの水蒸気が海から大気へ供給されることで、山岳部や北海道の内陸部では、ごくまれに降る大雪のリスクが増加するとの予測もされています。

地球温暖化による積雪域や積雪量の変動が日本へ及ぼす影響は、具体的なメカニズムについて未解明の部分が多く、今後も注視が必要です。

